

全国石材施工協会理事 西山昌孝氏

講習会終了後、全国石材施工協会の理事・西山昌孝氏(有限会社西山石芸)に話を聞いた。西山氏は現在46歳。20代で石材商社で経験を積み、30歳で独立した。これからの時代に生き残っているのは文字彫刻と施工ではないかと考え、施工の道を選んだという。取引先からの要望もあり、若い時の経験を活かして商品の卸を部分的に請け負っているようだ。全国石材施工協会の代表理事の井比宏育氏に出会うことで、同協会の理事として設立に関わることになった。



全国石材施工協会理事 西山昌孝氏

「井比社長との出会いには不思議な縁がありました。最初のきっかけは日本石材工業新聞の記事でした。施工を仕事にしている人が記事に取り上げられるのは珍しいと思ひ、興味深く読んだのですが、その内容に感銘を受けました。まったく同じ会社のカラーで、社員の年齢層も似ている。似たような考えを持っている人がいるんだと思ひ、どのような手段を使っても会いたいという気持ちが高まりました。

そうこうするうちに工具屋さんが間を取り持ってくれまして、愛知県で井比社長と会うことができました。会ったその日に意気投合しまして「一緒に施工の協会を立ち上げよう。ということになり、発起人の一人となってこの協会を設立しました」。

これまでの業界団体には施工の分野が欠けていると思つた西山氏は、その穴を埋める団体を作ることは大きな意義があると考えたという。そして協会員を増やすことで施工会社のネットワークを築いていくことが、各種資格や社会保険などの浸透につながり、結果的に職人ばなれを食い止めることになるのと考えた。今回の地震対策講習会もそうしたネットワーク拡大の契機としても位置付けられている。

「今回のような地震対策講習会の必要性があるのは、地域によって危機管理意識にまだまだ差があるからです。東日本大震災、熊本地震、鳥取県中部地震の現場にかかわった立場からもそう感じました。東日本に比べると西日本では遅れていますので、西日本でこうした講習会をやることはとても重要だと考えています。今回は熊本や鳥取からの参加者もいましたが、接着剤やアンカーボルトの話は響いたと思います。今回の参加者においては今後の復興に胸を張って取り組めるでしょうし、それがそれぞれの地域でいい影響を与えてくれることが期待されます」。



- ※ 接着面はキレイにしてください。
 - ・叩き面などは石粉などをよく取り除く
 - ・表面の洗浄をしっかりとした後十二分に乾燥
- ※ 接着面の塗布剤の見極め
 - ・撥水剤・ワックスの除去
 - ・研削の必要時もあり

接着面の洗浄と乾燥が重要

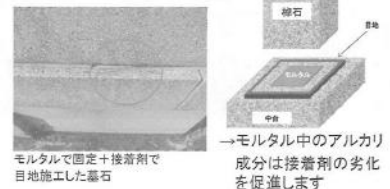
雨などで濡れた面の接着はお控えください。
→ **必ず十分に乾燥させること!**

- ・接着不良を発生する可能性があります
- ・冬期、硬化前の接着剤に雪や雨がつかかると、接着剤の表面が短期間で白化することがあります(白濁現象)

一施工後に雨や雪が降りそうな場合はブルーシートで覆うなどの対策を取って下さい

雨天での作業は要注意

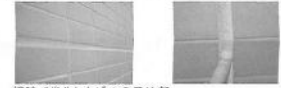
モルタルと併用しないで下さい!



接着剤とモルタルとの併用は避ける

メンテナンス(打ち替え)をお勧めします

住宅、ビルの目地と基本的な成分は同じ



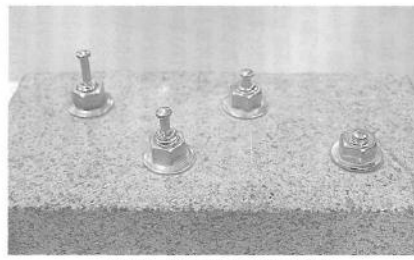
経時で劣化したビルの目地部

→ これらも経年で打ち替えられています

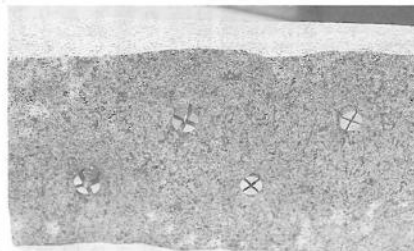
目地はメンテナンスが必要



座学の後は実技講習も実施



アンカーボルトの使用サンプル



アンカーボルト使用サンプル (裏面)

アンカーボルト 施工について

アンカーボルトについては、以下のような流れで説明がなされた。

- ①各種メーカーによるSDSプラスビットの比較
- ②金属系アンカーが効く仕組み
- ③金属系アンカーの分類
- ④打込式アンカーが不具

合を起す原因

- ⑤施工時の確認事項
- ⑥施工時の注意点(やっ
- ては、以下のような流れで説明がなされた。
- ⑦各種アンカーの比較
- ⑧アンカーの比較において、プラグアンカー、ビスアンカーの3タイプが次のように検討された。
- ⑨プラグアンカーとウエッジ式アンカーを比較した

場合、前者は鉛を使用しているために、経年変化によって強度を維持できなくなる可能性があるのに対し、ステンレス素材の後者にはその心配がないこと。前者は下穴が14ミリで石への負担が大きいのにに対し、後者は下穴径が8ミリでいいこと。

ビスアンカーとウエッジ式アンカーを比較した場合、前者は打込式のために職人の技術や経験によって効果が差が出るのに対し、後者は適正な手順を踏めば誰がやっても同じ効果が得られること。前者はしつかり打ち込むことが必要になるため、石が割れる危険性があるのに対し、軽く打ち込めばいい後者はその危険性が少ないこと。

こうしたアンカーの特徴については実際に体験するのが何よりも近道である。座学の後に実技講習も行われた。これまでウエッジ式アンカーを使ったことのない参加者も作業のしやすさについて身をもって体験することができた。

講師を務めた玉置氏に聞いたところ、現状で使用されている割合は、プラグアンカー、ビスアンカー、ウエッジ式アンカーの順に、3割・4割・3割ではないかとのこと。ウエッジ式アンカーはここ10年でシェアを増やしてきており、近い将来に現状の3割から4割に増えるのではないかとの見方である。



会場で配られたウエッジ式アンカー

五輪塔

多宝塔・宝篋印塔 卵形塔
お石遣は庵治石で!

庵治石細目極上採掘元

〒761-0121 香川県高松市牟礼町大字牟礼3717
株式会社 **和泉屋石材店**
☎087-845-9887
(087) 高松845-2471

赤土

1000度以上で焼成した水はけのよい特種赤土

製造元 **三河土管株式会社**

〒444-1325 愛知県高浜市青木町2丁目5-31
電話(0566) **53-0003** 番・FAX(0566) 52-0003 番

創業昭和35年

プロが使う字彫砂 (株) ドイ

大阪府南河内郡太子町春日97
Tel 0721-98-0222 Fax 0721-98-4506
HP: http://www.doi-abrasive.co.jp
E-mail: info@doi-abrasive.co.jp

浮金石

日本の銘石

写真撮影:平成26年10月中旬

株式会社 **石の協栄**

■浮金石・十万石青御影採掘加工販売
〒963-1152 福島県郡山市田村町細田字荒井186
TEL.024-955-3191 FAX.024-955-3194